

平成29年度 当初予算要求の概要

局・区名

市長公室

要求総額

676

百万円

(対前年度予算 ▲ -1.3 %)

局区予算要求方針

市長公室は、庁内各部署と連携して堺市マスタープランの実現を図るとともに、市民の元気や都市発展のための積極的な政策立案・推進に取り組みます。また、市政情報や都市魅力を発信し、市民の郷土意識の醸成や都市イメージ向上に取り組みます。

平成29年度予算要求においては、さらなる堺の飛躍に向けた都市戦略として、健康医療関連産業集積、水素エネルギー社会構築などの検討・具体化に取り組みます。また、堺ならではの資源を積極的に活かした都市プロモーション活動や、首都圏をはじめ市内外に対する情報発信の充実を図ります。

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

重点的に取り組むもの

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

1 全庁的な政策の立案・推進

要求額

◎ 健康医療関連産業集積形成事業

6 百万円

取組内容 平成35年に堺市内に近畿大学医学部・附属病院の開設が予定されている。これを契機として、健康医療関連産業等の集積を図り、地域経済の活性化や、定住人口の増加につなげる。29年度は、フォーラム等の開催を通じて本市の取組みを発信するとともに、産学公等による連携プラットフォームを形成し、医工連携のニーズや手法等について検討する。

○ 水素エネルギー社会構築推進事業

18 百万円

取組内容 産学公からなる「堺市水素エネルギー社会推進協議会」を通じて、水素の利活用を促進するための普及啓発・情報発信に取り組む。
平成29年度は平成28年7月に策定したロードマップに従い、水素ステーションに収益施設などを併設して事業性を高める水素利活用ビジネスモデル等の構築に向けた検証や臨海部企業での水素の相互融通等に向けた取組等を進める。

○ 環濠都市堺の再生事業

7 百万円

取組内容 「環濠都市堺の再生構想」をもとに、行政・市民活動団体・民間事業所等が情報共有し、連携した情報発信を行うことで、環濠地域のにぎわいづくりを促進する。また、「日本遺産」の指定をめざし、国からの支援を得ることで、さらなる公民連携した活動を目指していく。

2 堺市の都市魅力の発信

○ シティプロモーション事業

53 百万円

取組内容 本市の知名度向上やシビックプライド醸成を図るため、百舌鳥古墳群の世界文化遺産登録や千利休を主人公とする大河ドラマ実現に向けた取組みを充実する。また、堺名誉大使・堺親善大使・堺親善アーティストなど堺ゆかりの著名人や市民・事業者の協力のもと、堺の魅力発信に寄与する事業を拡充する。

○ 首都圏における堺の魅力発信事業

7 百万円

取組内容 本市と首都圏在住の堺にゆかりや関心がある方々との相互ネットワークである「東京・さかい交流会」の活動を推進する。首都圏において「百舌鳥・古市古墳群」の歴史的価値や魅力を発信し、世界文化遺産登録に向けての機運醸成を図るほか、あらたに、首都圏の企業と市内企業とのビジネスマッチングや市内への事務所移転の促進等を目的に、企業間交流・ネットワーク構築の機会を設ける。

行財政改革の項目

1 冊子作成、配本委託料の見直し

効果額

○ シティプロモーション冊子作成・配本業務

1 百万円

取組内容 Sakaistの発行にあたって、民間雑誌とタイアップし、雑誌紙面にSakaistと同じ記事を掲載することで、紙面の充実や雑誌購読者層への訴求を図る。
市からの冊子配布先を首都圏と堺市への転入者に特化することで、冊子作成コストの低減を図る。

○ 『国勢調査で見る堺』のペーパーレス化

0.4 百万円

取組内容 インターネットが普及し、電子機器を用いたデータの閲覧・入手が進んでいることから、ホームページ上でのデータ閲覧に一本化し、『国勢調査でみる堺』の冊子作成を廃止する。